

生き生きしらぬか☀️ 笑顔輝くまちを目指して

2020

広報

しらぬか

4

Apr No.1001



Contents

- 2 白糠町で映画撮影決定
- 6 「掘削技術専門学校」2022年開設
- 9 太陽のてがみ
- 10 まちの予算（令和2年度）
- 12 教育行政執行方針（令和2年度）
- 15 標準学力検査・総合質問紙調査結果（令和元年度）
- 26 退任挨拶（根津真枝さん、徐玉潔さん）

みんなで楽しい ひなまつり！

3月3日、白糠保育園で「ひなまつり会」が行われました。小中学校が休校となっている中、この日は園内に子どもたちの元気な声が響いていました。写真は子どもたちが「おびな」と「めびな」に扮し、ひな壇の前で記念撮影をしているところです。

「白糠町で映画撮影決定」

映画テーマは「アイヌ」

2021年撮影開始予定

脚本 尾崎将也氏



本町を撮影拠点に、アイヌをテーマとした映画が制作されます。2月20日、役場で映画制作報告会が行われました。

映画は、漫画家のコンサルティングを手掛ける合同会社プロテカ（東京都新宿区）の嘉山健一代表が企画し、脚本は、代表作に「梅ちゃん先生」「結婚できない男」「大奥く華の乱」などがある脚本家の尾崎将也氏が担当します。

制作報告会には、嘉山代表と尾崎氏、棚野町長、白糠アイヌ文化保存会の磯部恵津子会長が出席しました。

今月号では、制作報告会の概要をお知らせします。

「鳥もと」がつないだ縁

嘉山健一代表（以下…嘉山）居酒屋「鳥もと（東京都杉並区）」の店長である伊與田康博さんから、棚野町長を紹介されたのが始まりです。「鳥もと」で棚野町長と会いました。そのときに町長から、白糠町は食べ物がいちよく、夏は涼しくて過ごしやすいため『遊びにおいで』と誘われました。それで、私が担当している漫画家の2人と白糠町へ行くことにしました。（2019年9月号広報参照）

白糠町ではラム肉やシカ肉を食べました。また、町内を見て回り、とても良い場所だなという印象を持ちました。ウレシパチセにもおじゃまをさせていただきました。そのときに、アイヌ儀式の映像を見させていただき、アイヌ文化に対して興味を持ちました。

「アイヌ」がテーマ

嘉山…白糠町を見て回ったときに、「この町で映画祭をやってみたい」と思いました。東京に戻ってから、友人たちに白糠町のことや、映画祭の話をしました。すると俳優の友人から「映画祭よりも映画を作ってはどうか」という話をされました。

映画を作ったことはありませんが、私の周りにはいろいろと映画関係の方がいまして、漠然とですが『映画を作れそうだ』ということになりました。それであれば、撮影は縁のある白糠町でやらせていただきたいと思い、棚野町長に映画の話を見せていただきました。また、アイヌ文化に興味がありましたので「アイヌ」をテーマとした映画作品を作りたいと思い、白糠アイヌ協会にも話をさせていただきました。



合同会社プロテカの嘉山健一代表

全町を挙げて応援

棚野町長（以下…町長）私は、アイヌの方々の今日までの歴史的な経過、背景を考えながら、町全体がイオルという認識でまちづくりを進めています。昨今、アイヌ民族のさまざまな思いが認められて「アイヌ新法」という法律ができました。私はこのタイミングで、こういうお話をいただいたのが必然的だと思っています。撮影は、白糠町が拠点になります。北海道全体で見ても、この映画がこのタイミングで果たす役割は大きいと思っています。また、脚本は尾崎さんが引き受けてくださるということで、すばらしい作品になる

だろうと思っています。映画制作は、町としてもアイヌ協会にとってもありがたいお話ですので、全町を挙げて応援していきたいと思っています。

Q 映画の脚本を尾崎さんにしようと思ったのはなぜですか。

嘉山…映画を作るにあたって、まずは、脚本家ということで、真つ先に尾崎さんの名前が思い浮かびました。尾崎さんは、人物を描くのが上手な方ですので、そこにアイヌ文化を合わせるとおもしろい作品ができるのではないかと思いました。それで尾崎さんに話をしたところ、引き受けてくださるということになりました。

Q 映画が完成するまでのタイムスケジュールを教えてください。

嘉山…今年1年、2020年末を目指して脚本を完成させて、2021年1月から撮影開始。2022年3月末までに映画を完成させる（編集まで終わらせる）予定です。前後することはありますし、劇場との関係もありますので、映画の公開時期はもっと遅れるかもしれません。

Q 年内に脚本を完成させるということですが、今の段階でストーリーの構想はありますか。

尾崎将也氏（以下…尾崎）先ほど、嘉山さんから報告のありましたとおり「アイヌをテーマとした映画の脚本をやってみませんか」というお話をいただきました。私は普段、東京に住んでいますので、アイヌのことを詳しくは知らないのですが、私は『新しいことに挑戦したい』というタイプの人間ですので、知らないからこそ、やってみようと思い、二つ返事で引き受けました。

普段は主にテレビドラマの脚本を書いているのですが、ほぼ自動



映画の脚本を手掛ける尾崎将也氏

的に舞台が東京になります。地方を舞台にしたり、歴史を扱ったりということがほとんどありませんので、そういうこと自体に挑戦したいという気持ちもあります。

今日、初めて白糠町を訪れましたので、これから取材をして、勉強をして、という作業になりますので、どういうストーリーにするのか、ということもこれから考えることになります。

町の方々が全面的に支援してくださるといのは、物づくりをするうえで、とても心強いです。

Q尾崎さんは、白糠町に来たのが今日初めてということですが、これまで北海道に来たことはありますか。

尾崎…北海道に来たことはありません。2011年だと思いますが、山田洋次監督の「幸福の黄色いハンカチ」をテレビドラマでリメイクしまして、そのときは北海道の羽幌町を舞台に、脚本を作った経験があります。

Q滞在時間はまだ短いのですが、白糠町の印象は？

尾崎…東京で暮らしている人から

すると、とにかくゆったりとしている印象です。ここで生活している皆さんの心の中はどんな感じなのだろうか、という興味はあります。

Q映画制作の費用はどのくらい必要となりますか。

嘉山…そこはまだ流動的なのですが、制作、宣伝費も含めて3億円くらいになると予測しています。

Q映画の長さは？

嘉山…2時間を予定しています。

Q町を挙げて応援するということが、具体的にはどのようなことを考えていますか。

町長…白糠町で撮影をしていただけということ、町としては映画を通して、全国に町をPRできるように活動をし、交流人口や関係人口の増加、観光客の誘致など、地域活性の契機になればと期待しています。であれば、町としてもできる限りの支援をしていかなければなりません。これから脚本ができて、監督や俳優が決まり、いろいろなものが決まってくると、

どういう形で町として支援できるのかが見えてくるだろうと思えます。そのときに、いろいろな知恵を出しながら、積極的に応援していければと思っています。

Q先ほどアイヌ新法の話しができましたが、今後この交付金（5ペー ジ参照）を活用して支援するということはあるのでしょうか。

町長…無きにしても非ずだと思っています。先ほど『いろいろな知恵を出して』と言った中には、そういうことも含んでいます。交付金を直接映画の制作費用に充てることはできませんが、交付金を使う町の活性化が図れるような方法



棚野町長



昨年7月、嘉山代表（写真左）はウレシパチセでアイヌ伝統儀式などの映像を見たことをきっかけに、アイヌ文化に興味を持ちました。

を考えることは必要だと思っています。

町としては、映画が上映された後に、どう町の活性化につながっていくか、そこに力点を置いていきますから、たとえば、撮影場所での交流事業ですとか、映画で使われたセットを使用した事業など、いろいろな知恵を出さなければなりませんし、脚本や撮影などでも、町が協力できることはしていきたいと思っています。

Qアイヌがテーマということですが、磯部会長はどのように考えていますか。

磯部恵津子会長…とてもうれしく



白糠アイヌ文化保存会の磯部恵津子会長

尾崎…まずは、先ほど費用が3億円というお話にもあったとおり、Q尾崎さん、映画にかける思いをお聞かせください。

「アイヌの歴史、アイヌ民族はどういう人たちで、どんな考えを持っているのか、そしてどういう時代をくり抜いてきたのか。この映画は、日本全国で見られますので、そういったことを皆さんに知っていただけたらと思います。」



「これから映画の制作が始まります。今後、監督や配役が決まれば、「広報しらぬか」でもお知らせしていきます。」

映画の制作に町民皆さんのご理解とご協力をお願いします。

全国公開する規模の映画作品ですので、多くの方に見てもらえるエンターテインメントにしたいと思っています。

もう一つは、映画には国境がないということ。韓国映画『パラサイト』がアカデミー賞を受賞したように、映画は国境を越えていくものですから、今回制作する映画は、国境を越えていける可能性が高いのではないかと思います。

アイヌ政策推進交付金事業

本町では、アイヌ新法で創設された交付金を活用して、次のとおりアイヌ政策推進事業を行いました。

■事業名 白糠町アイヌ文化の保存・伝承・活用推進事業 ～ウレシパ・プラン～

■事業の目的 アイヌ文化等の継承を確実なものとするとともに、地域に存するアイヌ文化等を魅力ある地域資源として磨き、広く情報発信することにより、さまざまな交流活動の活性化を図り、魅力ある地域社会を形成すること。

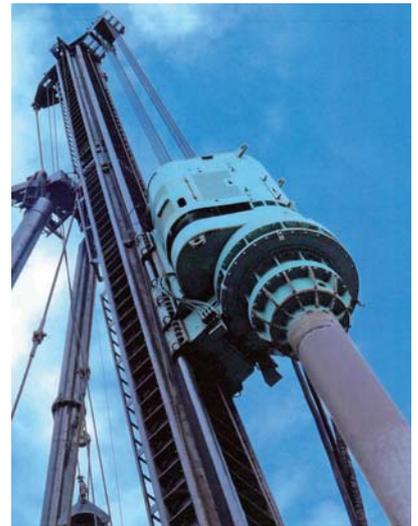
■事業概要と事業費（令和元年度）

（単位：千円）

事業概要	事業費	うち交付金
白糠アイヌの伝承拠点を巡るツアー開発事業(情報発信) ・国際放送番組の制作・放送（年1回） ・外国人モニターによるアイヌ文化体験 ・インターネットを活用した情報発信 ・DVDの制作	15,363	12,290
人材育成のための学習支援事業 ・放課後学習サポート運営のための講師雇用、業務委託 ・公営塾運営のための講師雇用、業務委託等	23,286	18,629
アイヌ文化の伝承と理解促進のための環境整備事業 ・馬主来自然公園フンペリムセ発祥の地、乳呑自然公園の環境整備	6,000	4,800

日本初

掘削技術専門学校 22年白糠町に開設



地

熱発電の掘削技術者を養成する「掘削技術専門学校」を町内に開設する「株式会社町おこしエネルギー」の沼田昭二社長



棚野町長と町おこしエネルギーの沼田昭二社長

と同事業開発部の岡本道明部長、棚野町長が2月18日、役場で学校設置の経過や概要などを発表しました。

2月13日、北海道私立学校審議会専門学校の設置計画が承認されたことを受けて、記者発表したものです。

学校設置に至る経過

沼田昭二社長（以下・沼田）以前、白糠町にバイオマス発電所（釧布工業団地にある株式会社神戸物産のバイオマス発電所のこと）を建設するなど、白糠町にはずっとお世話になっていました。現在、神戸物産（沼田博和社長）は、息子に継いでもらいましたが、神戸物産

でバイオマス発電所を建設したときと同じように、私には地域活性化のために、何か使命感のあることを成し遂げたいという思いがありました。また、現在の日本におけるエネルギー問題に危機感をおこします。それで名前のとおり「町おこし」と「エネルギー」。再生可能エネルギーを活用した事業で地域の活性化に取り組む「町おこしエネルギー」を立ち上げました。

再生可能エネルギーの中で、太陽光発電とバイオマス発電は、神戸物産でやっていますので、それは今後も続けて行きます。ですので、地熱発電と風力発電になりますが、地熱発電に特に注目しています。再生可能エネルギーの中でも二酸化炭素の排出量が一番少な

いのが地熱発電です。二酸化炭素の削減にもつながります。熊本県小国町でも発電の準備に入っていますが、その中で問題視し、悩んだことは最初の試し掘りです。実際に『どれだけのポテンシャルがあるのか』という試し掘りをするのですが、まず掘削をしてくれる業者がいまいません。それで棚野町長に相談をさせていただきました。

日本初の掘削技術専門学校

沼田…棚野町長から『白糠に学校を作ってはどうか』というお話をいただきました。

安全面を徹底し、実際に掘削ができる学校は、過去も含めて日本にはありません。大きな機械を使いますから、ロータリーの場合は特に危険です。ですから、大きな土地で試掘する必要があります。また、熱量があるところで掘らなければなりません。白糠町にはこうした条件が整っていますし、これまでの白糠町との信頼関係もありますので、白糠町に学校法人ジオパワー学園を設立するという流れです。

【世界各国の地熱資源量】

順位	国名	資源量(万kW)
1	アメリカ	3,900
2	インドネシア	2,700
3	日本	2,300
4	フィリピン	600
5	メキシコ	600
6	アイスランド	580
7	ニュージーニア	370
8	イタリア	150

独立行政法人石油天然ガス・金融鉱物資源機構
HP掲載資料を基に作成

【世界各国の地熱発電設備容量】

順位	国名	設備容量(MW)
1	アメリカ	372
2	フィリピン	193
3	インドネシア	186
4	トルコ	106
5	ニュージーランド	98
6	メキシコ	92
7	イタリア	92
8	アイスランド	71
9	ケニア	68
10	日本	55

BP「Statistical Review of World Energy 2018」を基に作成

なぜ学校が必要なのか？

沼田…日本は地熱エネルギーの資源量が世界3位であり、世界でも有数の地熱資源大国ですが、地熱発電設備容量では、世界第10位と出遅れています。なぜ10位かと言

いますと、掘削技術者の不足です。また、日本の地熱発電設備容量はあまり変わりませんが、発電電力は年々減少しています。これが現実なのですが、学校ができれば多くは解決すると思います。

掘削技術専門学校を まちづくりにつなげる

棚野…本町に教育施設の立地がかなうという事は、なかなかないことです。町にとっては、これからのまちづくりの、そしてまた地域活性化の大きな手段になっていくと思っています。また、この専門学校をいかにまちづくりにつなげていくか、ということをしつかりやっていかなければならないと思っています。

北海道の基幹産業は一次産業であり、一次産業を振興するためには、物流とエネルギーをいかに安くするか、ということが今後の大きな課題となっています。そういう中で、本町は農業、漁業、林産業において、安いエネルギーを投入することが『第一次産業の再興と振興につながる』という考えのもとで、再生可能エネルギーに注目したまちづくりをしてきました。ありがたいことに本町は、太陽



町おこしエネルギー沼田昭二社長

光に恵まれたまちです。おかげさまで太陽光発電でまちづくりをおこなっています。そして、神戸物産にはバイオマス発電所を稼働していただきました。本町では、水素の実証実験も行っていますので、残るは地熱発電と風力発電になります。この2つは厳しいと思っています。この2つは、そういう中で掘削のお話を沼田社長からいろいろと聞きました。その中で地熱発電の可能性があることを知りました。さまざまな諸条件はありますが、『本町に学校を作っていただきたい』ということをお願いしました。本町にとって、また地熱業界にとっても『ここに立地して良か

ったな』と言っていただけのように、町としても、できる限り応援したいと思っています。

Qさまざまな条件がある中で、白糠町を選んだ理由は何ですか。

沼田…まずは白糠町との信頼関係です。町のバックアップがなければ、時間ばかりかかって、仕事がスムーズに進みません。町が全体を考えて、バックアップしてくださるというのが一番大きいです。

二つ目は、広い土地があるということ。たとえば、10トンのロータリー車だけで40台。それだけ大きな重機ですから一つ間違えれば大事故になります。そういうものを実技で安全に使用できる場所がありませんでした。また、コアというものが入っている石の塊を何十個も使用するのですが、それを置いておく場所も必要になります。

三つ目は、いろいろなところで試掘するのですが、たとえば二酸化炭素のガスなどが出てくる場合があります。道東に何カ所かそういう場所があるのですが、実際にそういう危険な場所に行って、安全を確保したうえで実技ができる。そういう場所があるのは、私

が知る限り道東だけです。
四つ目は、ほとんどの学生が東京から来ることになると思いますので、町が釧路空港の近くにあるというのも大きいです。

Q 机上の勉強だけではなく、学校では実際に実技、実演で学べるというのが大きいのと思いますが、具体的にどういった技術が学べますか。

沼田…一般的には溶接や掘削の技術などです。こういうものの多くは、現実には免許がなければ作業してはいけません。しかし、多くの場合、学校にはそういう機材もないので、免許を取りに行けません。ほとんどが、就職してから免許を取得しますが、免許を取るまでの数カ月間は実際に作業することができないのです。このことが、私は矛盾していると思っています。
もう一つは、日本が学校を作ったのはベトナムなんです。フィリピンの方やタイの方、一番多いのはベトナムの方ですが、そういう方々が日本に来て掘削をしています。9割以上が山の上での作業になります。ベトナムやタイの方は、日本人より一回り小柄な方が多く、寒さにもなれていません。

ですから、日本に来て重たいものを持ったり、それ以上に寒さに耐えられず、冬の掘削ができていないのが現状です。これも問題だと思っています。

私を実技で重要視しているのは安全面です。一番最初に安全面をしっかり確保したうえで、実技を学び、現場に行っていた方がいいという思いです。

Q 学生寮などでの地元の雇用は何人くらいを予定していますか。

沼田…5人以上と考えていますが、まだスタート段階ですので、増える可能性はあると思います。

Q 学校等の施設の着工は何月からいになりそうですか。

沼田…3月中旬に業者を選定し、その後すぐに着工したいと思っています。敷地に関しては、少しかまぼこ型状になっていますが、その形が一番使いやすいので、その形のままで使用します。建設地は、実際に放牧されていたところなので、牧草がありますが、そういうところを生かした学校づくりをしたいと思っています。校舎や学生寮、あとは練習場などを作ります。最初



町おこしエネルギー事業開発部の岡本道明部長

はコア試料の保管場所としてD型ハウスを3棟建設します。学生寮は2階建てで先生は1階、生徒は2階で、2人用の部屋を40部屋で計画しています。80人は入れるようにします。

Q 学校を卒業された方の雇用はどう考えていますか。

岡本道明部長（以下…岡本）掘削業者もいろいろあります。全国ボリング技術協会などの協会に加盟されている業者も多数ありますが、どこの業者も人集めには大変苦労されています。今回、学校ができますと、学校を訪問していただければ人が雇えますので、そういうところに就職をあっせんして

いきたいと考えています。

Q 北海道私立学校審議会で設置計画が了承されたということですが、改めてジオパワー学園の学校法人設立がいつ頃になるかを教えてください。

岡本…建物が全部できて、私学審議会の許可が出た時点で、学校法人として認可されるということです。2021年6月には最終の許可を得たいと考えています。今回は計画の許可ということです。



太陽のてがみ

てがみには、住所・氏名・年齢・職業を記入してください。（広報掲載時に氏名は載りません。）なお、ひぼう・中傷や営利を目的とする内容は掲載しません。

「縫別自然の家」の有効活用について



50代・女性

いつも魅力的な「まちづくり」がありがとうございます。特に、子どもの医療費や給食費の無料化などの「子育て支援制度」、カミパラ・味技フェス・大漁まつりなどといった「食」に関する取り組みがとても良いと感じています。白糠町にはおいしい食材が多く、

ふるさと納税でもそれらが高く評価されていると聞きます。

そこで一つ質問です。「縫別自然の家」の大規模改築計画はあるのでしょうか？

数年前、学校の行事で施設を利用した娘が「もっと清潔で設備が整った宿泊施設なら、また利用したいけど…」と言っていたのですが、シャワーや宿泊部屋などの整備はされているのでしょうか？予算がつけられるのなら、子どもたちをはじめとした町民の皆さん、町外の方も利用したくなる施設にするべきだと思います。

白糠町は自然や食材に恵まれ、水や空気も良く、夏は涼しくスポーツをするのにも適した気候です。宿泊体験や合宿などで、多くの方々に利用してもらえる施設があれば、もっとたくさんの方が白糠を訪れ、町が活性化すると思います。また、施設内や近郊で白糠の産業やアイヌ文化に触れられるなど、白糠らしい体験ができるような環境が整えられれば、もっと良いのではないのでしょうか。

お答えします

縫別自然の家につきましては、平成3年の開設以来、シャワー室等の施設内清掃、パークゴルフ場の芝管理のほか、地域の皆さんにご協力いただき、花壇の植栽を行うなど、訪れる利用者の方々に、気持ちよく使っていただけるよう努めています。

しかしながら、施設の老朽化に加えて、近年野外活動における宿泊形態が多様化し、野外にいらながら快適に過ごすことを目的とした施設の需要が増加していることから、年々利用者が減少しているのが現状です。

そのような状況を踏まえたとき、ご提言いただいた内容につきましては、町としても同様の思いがあり、また、他の町民の方からはキャンプ場の整備についての要望もいただいておりますことから、縫別自然の家を含めた野外宿泊施設の在り方について、総合的に検討を進めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。

〈教育委員会社会教育課〉

タコ君とイカさんの恋問体操

新型コロナウイルスに感染しないようにするため、家にこもり体を動かす機会が減っていませんか？運動不足を解消するために、自宅で簡単にできる運動「タコ君とイカさんの恋問体操」を紹介します。

タコ君とイカさんの恋問体操は、椅子に座ったままでもできる簡単な体操です。今回、全町民の方が毎日取り組めるように、町職員が動画を作成し、町のホームページで配信しています。DVDも貸し出ししていますので、ぜひ行ってみてください。（介護健康課）



令和2年度 予算

問合せ
企画財政課財政係
☎ 2-2171
(内線320)

令和2年度の予算が第1回町議会定例会で可決されました。

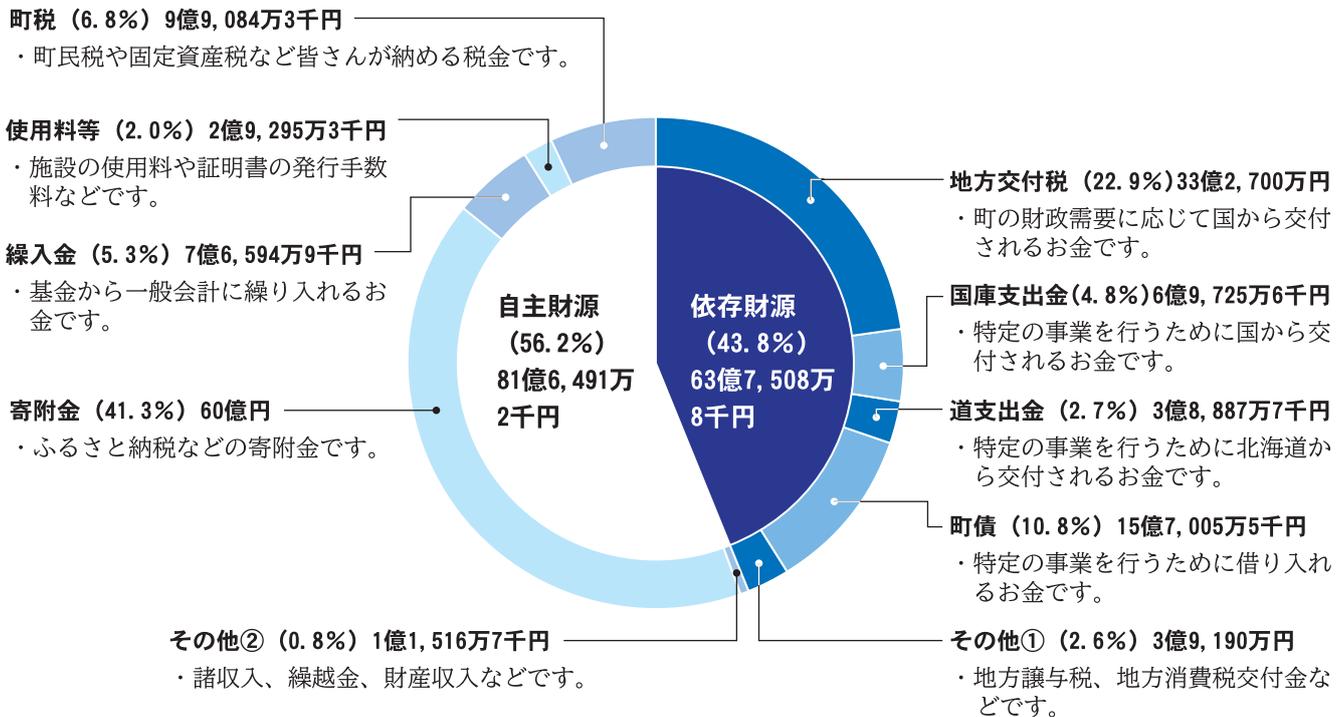
一般会計の当初予算は、145億4000万円（前年度比26・1%増）です。本年度は、町長の改選期にあたるため、骨格予算編成となっておりますが、防災や減災、「第一次産業の再興と振興」といった喫緊の課題へ対応するため増額となりました。また、ふるさと納税を60億円として予算に組み込んでいるのも増額の要因となっています。なお、政策的な事業の予算措置は、町長選挙後の町議会定例会で補正予算の計上を予定しています。

特別会計の当初予算は、31億2038万9千円（前年度比9・1%増）となっております。

一般会計と特別会計を合わせた総額は、176億6038万9千円（前年度比22・8%増）となっております。

一般会計 歳入

145億4,000万円



重要課題事業

防災・減災のまちづくり

●戸別受信機整備事業

2億9097万7千円
全戸を対象に戸別受信機を設置します。

●消防庁舎建設事業

1億8494万3千円
外構工事、備品等を整備し、本年10月に供用を開始する予定です。

●避難路等整備事業

3億4477万6千円
①栄橋通り整備事業
逍遙公園東側町有林避難場所などへの避難路として重要な路線の改良舗装工などを実施します。

②白中北通り整備事業および③津波指定避難路等整備事業
白糠中学校裏山指定避難場所への避難路と避難場所を整備します。

●災害資機材運搬車両整備事業
511万4千円
災害時に必要な資機材の運搬車両として2トントラックを整備します。

●消防団の装備充実強化事業
426万4千円
消防団員の活動服や消防用ホースの更新を行います。

消防団員の活動服や消防用ホースの更新を行います。

水道事業会計予算 (単位：千円)

予算区分	収入	支出
収益的収入 および支出	232,015	219,457
資本的収入 および支出	5,459	111,715

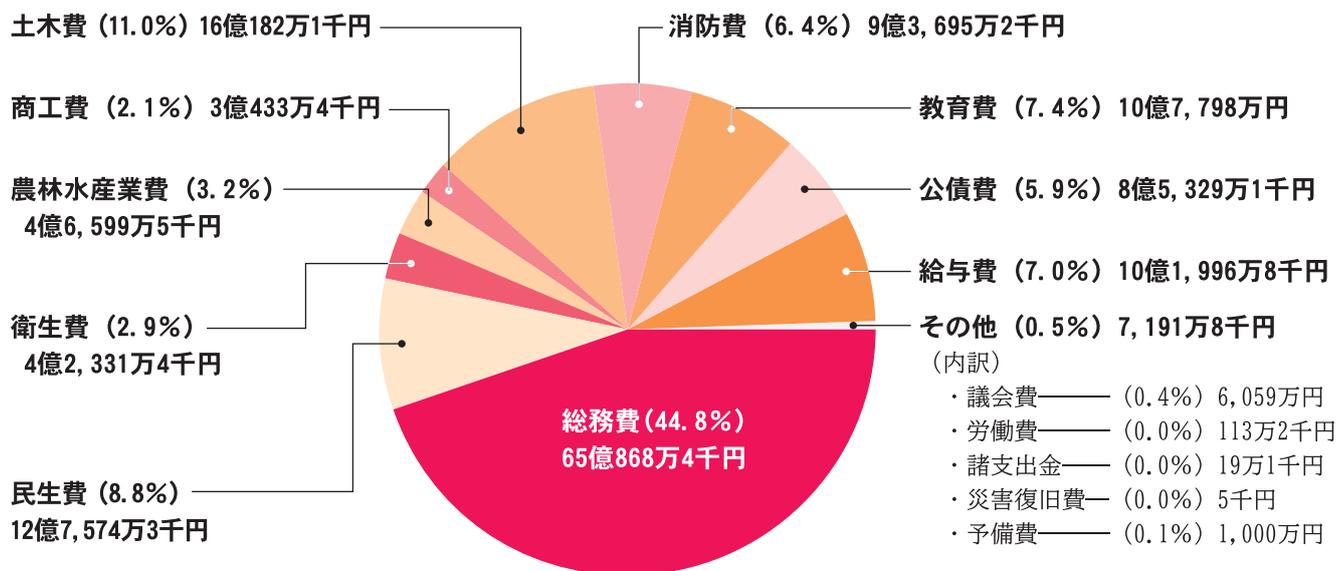
※資本的収支の不足額は、消費税資本的
収支調整額等で補てんします。

各会計予算総括表 (単位：千円、△はマイナス)

会計名	令和2年度	令和元年度	増減額
一般会計	14,540,000	11,528,000	3,012,000
特別会計			
国民健康保険	1,035,245	1,061,648	△26,403
簡易水道及び飲用 水道供給事業	63,281	61,060	2,221
公共下水道	881,149	566,559	314,590
介護保険	1,002,212	1,034,571	△32,359
後期高齢者	138,502	135,396	3,106
合計	17,660,389	14,387,234	3,273,155

一般会計
歳出

145億4,000万円



第一次産業の再興と振興

●就農者受け入れ環境の整備事業
4825万3千円
新規就農者の受け入れ体制を整備し、次代を担う農業者の確保、育成に向けた取り組みを進めます。

●未整備森林の環境整備事業
3500万円
未整備町有林の高齢級化や風倒木の解消を図ります。

●白糠漁港整備事業
290万円
耐震化や衛生管理に配慮した大規模な施設整備を、令和10年度までの継続事業として実施します。

公共施設の適正な管理

●温水プール改修事業
1億8357万3千円
建設から30年が経過していることから、設備などの大規模改修を実施します。

●町民広場改修事業
1億2580万円
町民広場のウォーキングコース等を整備します。

●国道392号白糠跨道橋撤去事業
2240万円
2つの跨道橋を令和3年度までの2力年で解体・撤去します。

令和2年度

教育行政執行方針 (要旨)

1 はじめに

昨年度は、少年団および各校の部活動における全道大会進出や、庶路学園の生徒が「少年の主張」釧路地区大会で最優秀賞を受賞し、全道大会へ出場するなど、スポーツおよび文化活動等を通して、子どもたちが存分に活躍する姿を見ることができました。こうした、子どもたちが全力で主体的に取り組む姿や、粘り強く取り組もうとする姿に、町は大変元気づけられています。まさに、子どもは町の宝であることから、町全体が一枚岩となって子どもたちを育て「子育て応援日本一のまち」の実現を目指して、これからも一歩前進した取り組みの充実を図らなければならぬと考えています。

教育委員会は『ふるさと教育』の原点に立ち返り、これからの時代に必要な資質・能力を着実に身に付けていく人材の育成と、白糠

の恵まれた自然・産業・文化などを愛し、広い視野に立つてふるさとへの愛着心や、ふるさとに生きる意欲、そして、ふるさとに対する感謝の気持ちを持ち続けることができる人材の育成を目指します。今後も子どもたちと大人が、共に学び続けることに喜びを感じ、笑顔あふれる町づくりに、最善を尽くします。

2 学校教育の充実

「未来に向けて自ら学ぼうとする人づくり」に努めるとともに、本町らしい子育て支援策や、小中一貫教育の一層の充実に向け、次の4点の取り組みを推進します。

① 実社会で生きる実践的な力の育成

子どもたちが「グローバル社会

の中で、進んでコミュニケーションを図り、自己実現できる人」へと成長できるように、次の2点を重点として事業を推進します。

一つ目は「基礎学力の定着」です。小中一貫教育の一層の充実を図るため、9年間の学びの系統性や連続性を生かした指導を継続し、発展させていきます。また、ICTを活用した学習環境を充実するとともに、土曜授業の継続や放課後学習サポート事業を拡充させ、家庭学習の習慣化と基礎学力の保障に努めます。

二つ目は「外国語によるコミュニケーション能力の向上」です。「使える」外国語の指導を徹底するとともに、ALT（外国語指導助手）の効果的な活用、海外との学校交流や海外研修の充実を図り、外国語を用いてコミュニケーションを図ることのできる場と機会の意図的な設定に努めます。

② 豊かな心と健やかな体の育成

確かな学力と密接不離の関係にある「豊かな心」と「健やかな体」の育成は、発達段階に応じた適合性を図りつつ、次の2点を重点として事業を推進します。

一つ目は「基本的な生活習慣の定着」です。「基礎学力の定着」には、生活習慣の確立が不可欠であり、家庭における生活リズムのチェックや、情報端末機器の利用におけるルールの徹底、三愛運動の実践を通して、家庭や地域における教育力を一層高めるために意を注ぎます。

二つ目は「健康の保持と体力の向上」です。各種調査結果に基づき、学校や家庭・地域における運動機会の充実に引き続き努めます。また、地産地消や地域の特性を生かした食育を推進するため、地元生産者の協力の下「ふるさと給食」を継続するとともに、学校・家庭・医療機関等と連携した食物アレルギー



小学校および義務教育学校の1・2年生は、タブレットなどのICTを活用した教育を受けています。



昨年11月11日から15日までを「ふるさと給食週間」と定め、地場産物を使用した給食を提供しました。

ギー対応など、安全・安心で栄養バランスの取れた、白糠ならではの給食の提供に努めます。

③信頼される学校づくりの推進

学校が「保護者や地域からの信頼」を構築するため、次の2点を重点として事業を推進します。

一つ目は「地域に根差した学校づくり」です。「地域とともにある学校」として、引き続きコミュニケーション・スクールの実践や研究を進め、保護者・地域住民の意見が学校運営に反映されるよう努めます。

二つ目は「教師の力量向上」です。9年間の学びの系統性や連続性を踏まえ「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善や、生徒指導の機能を生かした

学級経営の充実を目指し、各種研究会や校内研修等による力量向上を図ります。また「学校現場の働き方改革について」さまざまな角度から検証を行い、教職員が生き生きと働くことのできる環境を整え、しっかりと子どもたちに向き合うことのできる時間の確保に努めます。

④地域全体で子どもを守り育てる体制づくりの推進

子どもたちが、安心・安全な環境の下で育つことができるよう、次の2点を重点として事業を推進します。

一つ目は「安心できる教育環境の整備・充実」です。入学支援金の支給と、給食費無料化の継続とともに、白糠小学校と白糠中学校の統合事業を推進します。また、幼児教育と学校教育の連携を進め、ゼロ歳児から義務教育段階終了まで、教育の連続性を確保します。同時に白糠高等学校の魅力化につきます。取り組みを引き続き推進します。

二つ目は「健全育成事業の協働実践」です。青少年育成員や地域住民とともに「見守り・声かけ運動」を拡充し、子どもたちが自分

の将来に夢が持てるよう「ミニ社会体験」を推進します。

3 社会教育の充実

町民の主体的な学びを支援、あらゆる機会と場で学習ができる町を目指します。具体的には、教育行政スキームの実践プラン「生活いきいきプラン」および「親子にこにこプラン」に沿い、次の5点の取り組みを推進します。

①生涯学習を推進する実践活動の展開

豊かな生涯学習社会を実現するため、次の2点を重点として社会教育活動を実践します。

一つ目は「まちぐるみ運動の推進」です。三愛運動の実践を一層奨励するとともに、まちづくりにつながる学習機会の充実を図り、各種団体等による活動の活性化に努めます。

二つ目は「ボランティア活動の推進」です。ボランティア講師の発掘と活動の環境整備に努めるとともに、実践内容を積極的に紹介し、活動の推進ならびに活性化を

図ります。

②社会教育活動の充実

青少年の健やかな育ちを願い、次の2点を重点として事業を推進します。

一つ目は「家庭の教育力を向上させる支援の充実」です。教育の原点は家庭教育であることを踏まえ、子どもの基本的な生活習慣の定着化を図るため、関係機関との連携による多様な学習機会の提供に努めます。

二つ目は「青少年健全育成事業の推進」です。地域の自然・文化・産業を生かした体験活動の充実を図るとともに、学社連携を強化する各種事業を展開します。



「明日の青少年を考える集い」のふるさと教育報告会では、児童・生徒たちが、ふるさと教育に取り組んだ成果を発表しました。



昨年100周年を迎えた郷土芸能「白糠駒踊り」。郷土芸能の保存・伝承の支援に努めます。

③文化活動への参加機会の拡充

文化活動への参加機会を拡充するため、次の2点を重点として事業を推進します。

一つ目は「公民館講座や土曜サロンの充実」です。新たな人材の発掘、各種団体や関係部局との事業連携により、地域資源を活用した多様な学習活動の充実に努めます。

二つ目は「文化団体の活動推進」です。文化活動の発表と鑑賞および参加の機会を積極的に情報提供し、団体活動の活性化を図ると

もに、郷土芸能の保存・伝承の支援に努めます。

④スポーツの振興

町民一人ひとりがスポーツ活動を継続的に実践できる「生涯スポーツ社会」の実現を目指すため、次の2点を重点として事業を推進します。

一つ目は「生涯スポーツの充実」です。ひとり一スポーツを目指し、各種スポーツ教室や大会の工夫、情報提供を通じて、生きがいや楽しみとしての体力・健康づくりを推進します。

二つ目は「競技スポーツの充実」です。競技力の向上を図るため、SEA（スポーツ国際交流員）を活用した町技スポーツへの新たな取り組みを始め、各種団体活動や大会出場を支援し、青少年のスポーツ活動の推進と参加意欲の高揚に努めます。

⑤社会教育施設の整備・充実

町民が安全で快適に各施設を利用できるように、次の2点を重点として推進します。

一つ目は「施設の長寿命化を図る保全・管理」です。きめ細かな



昨年8月からSEAとしてチャンドラさん(写真右)を招へいし、子どもたちにバドミントンの指導をしています。

施設の点検や補修を行い、適切な維持管理に努めるとともに、各種計画に基づき、施設の長寿命化を図ります。

二つ目は「利用の活性化を図る工夫・改善」です。多様なニーズに対応する文化施設の運営に努めるとともに、指定管理者との緊密な連携によるスポーツ施設の一層のサービス向上と利用拡大に努めます。

4 おわりに

理論物理学者であるドイツ人の

アインシュタインは「教育とは、学校で学んだことを一切忘れてしまった後に、なお残っているもの。そして、その力を社会が直面する諸課題の解決に役立たせるべく、考え、行動できる人間を育てること。それが教育の目的と言えよう」と、教育の真意について説いています。

本年度から小学校において全面实施される新しい学習指導要領は、まさにこうした先人たちの教えが具体化された「学びの地図」であるといっても過言ではありません。私たち全ての大人は、教育に携わる者として『よりよい教育を通じて、よりよい社会を創る』という目標を共有し、互いに連携・協働しながら、これからの社会に求められる資質・能力を、子どもたちに育んでいく責務があります。同時に、町民全てが生涯にわたって学び続けることのできる環境づくりに意を注いでいかななくてはなりません。

教育は、不易と流行を見極めながら、地道な活動の積み重ねにより成果が現れるものです。本年度も町民各位のご理解とご協力を得ながら、人づくり、地域づくりのために、職員が一丸となって最善を尽くします。

令和元年度

標準学力検査・総合質問紙調査結果

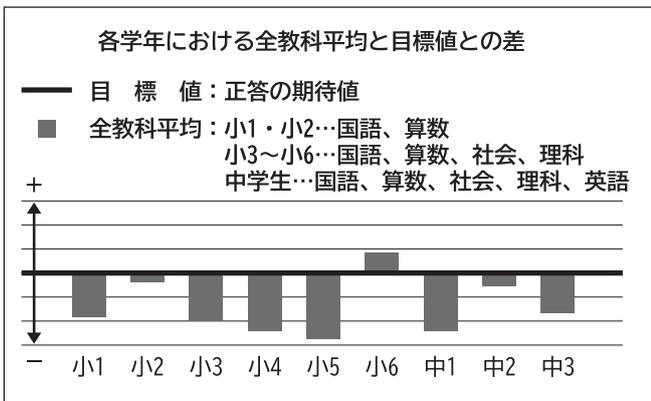
本町で毎年実施している「標準学力検査」および「総合質問紙調査」の結果をお知らせします。

なお、本調査は、町内小学校1年生から中学校3年生までの全児童生徒を対象に実施したものです。標準学力検査・総合質問紙調査結果に関する問い合わせは、教育委員会指導室まで ☎2-217171（内線266）まで。

1 標準学力検査結果

小学生6年生のみ、全教科の平均が目標値を越えました（図1）
 小学校全体の傾向としては、前の学年で学習した漢字や簡単な割り算の計算など、基礎的・基本的な内容の定着に課題がみられます。
 中学校は、教科や単元によって、正答率に大きな差があるとともに、身に付けた知識の活用を図る問題に苦戦している生徒が多く見受けられました。また、全体的に本町の児童生徒は、自分の考えを書いたり根拠に基づいて説明したりする力に課題が見られます。

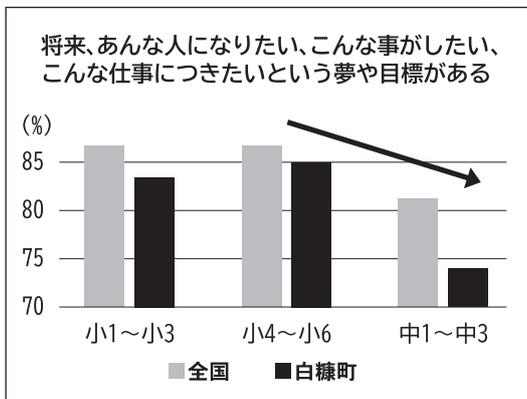
(図1)



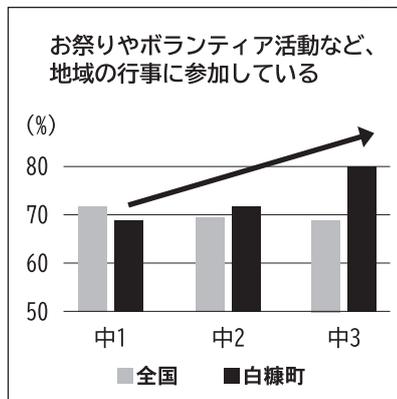
2 総合質問紙調査結果

中学校では、社会参画意識について全国平均を上回りました。家庭と学校と地域が一体となった取り組みの成果であると考えられます（図2）
 一方で、学年が上がるにつれて、夢や目標があると回答する児童生徒の数が減少しています（図3）

(図3)

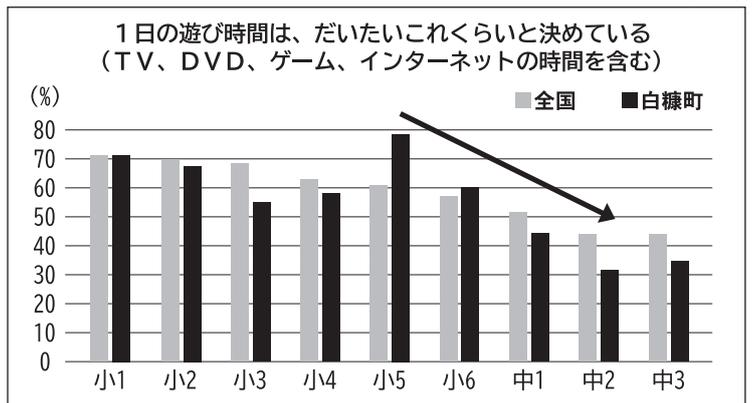


(図2)



生活・学習習慣においては、家庭での学習時間やテレビやゲームなどの遊び時間について学年が上がるにつれて時間がルーズであり、規則的な生活・学習習慣の定着に課題が見られます（図4）

(図4)



今後の対応について

- 学習では、わかる（できる）まで繰り返し書いて取り組み、苦手部分を克服しましょう。
- 1日の生活を見直し、毎日決まった時間に家庭学習に取り組みましょう。
- テレビや情報端末機器等を使用する時間は家庭でルールを決めて守りましょう。
 （情報端末機器に関する白糠町のルールを徹底して守りましょう）
- 家庭での会話の時間を多くもちましょう。

TOPIC

1

文科大臣優秀教職員表彰 苗畑秀美栄養教諭

2

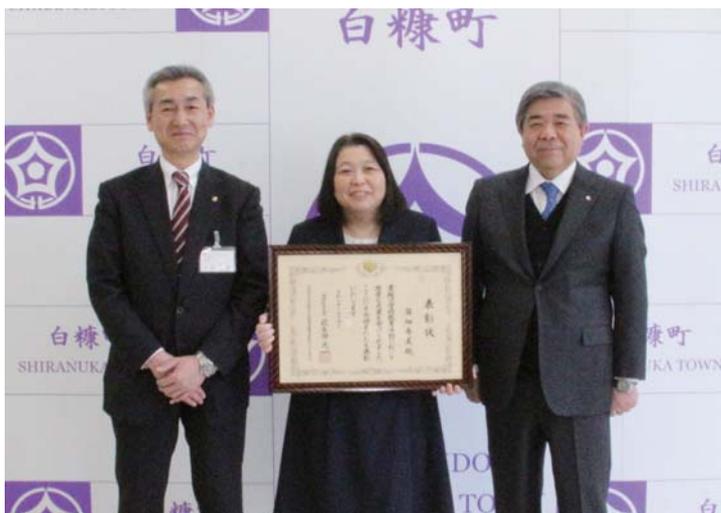
18

文科大臣優秀教職員表彰伝達式

町内小中学校、義務教育学校で栄養教諭を務める苗畑秀美さんが、令和元年度文部科学大臣優秀教職員表彰を受けました。

苗畑教諭は「食育の日」などのイベントを企画したほか、その成果を全道、全国の場で発表するなど、食に対する教育に貢献しました。

苗畑教諭は「受賞は皆さんの協力のおかげです。これからもっとふるさと給食に力を入れて、白糠の食材を広く伝えていきたい」と話していました。



TOPIC

2

まちの魅力を再確認

2

21

連合町内会活動研修会

連合町内会の活動研修会が社会福祉センターで開催され、町内会の役員や女性団体連絡協議会の会員など約70人が参加しました。

同研修会では、地域おこし協力隊の北田純子さんが講演を行いました。北田さんは、よそ者目線で見た町のすてきなところとして「東山公園から見た海の景色」や「恋間海岸の夕日」などを挙げ、その魅力を語りました。また、地元では不人気な霧も観光資源になりうると話していました。



TOPIC

3

まちの賑わいを創出

2

22

第3回一夜限りの駅前炉端

商工会青年部は、冬場の地域活性化イベントとして「一夜限りの駅前炉端」を駅前バスターミナル駐車場の特設会場で開催しました。

この日は、雪から雨へ変わるあいにくの天気でしたが、午後6時ごろにはテント内に人があふれていました。来場者はホッケやコマイ、ジンギスカンなどを炭火で焼きながら、ビールや日本酒で乾杯。寒さを吹き飛ばすほどの盛り上がりを見せていました。



TOPIC

4

運動中のけが防止に

2

23

スポーツ指導者研修会

教育委員会は、スポーツ指導の資質向上を目的としたスポーツ指導者研修会を総合体育館で開催しました。体育指導員など約30人が参加しました。

柔道整復師の小向啓介さんを講師に迎え「運動能力向上のサポート」と題して、けがの予防や状況判断力の向上に効果的なエクササイズやテーピングなどの応急処置を学びました。

参加者は「けがをしないよう、今回学んだストレッチ法を早速取り入れたい」と話していました。



TOPIC

5

手作りポストカードを設置

3

4

白中生がポストカードを作製

白糠中学校の特別支援学級に在籍する3年生の山内萌愛さんが作製したポストカードを、役場福祉課窓口と社会福祉センターに設置しました。

ポストカードは、給食の牛乳パックを紙すきして作られたもので、すべての作業を山内さん1人で行いました。山内さんは「色合いにこだわり丁寧に仕上げました。ぜひご利用ください」と話していました。臨時休校のため、担任の佐久間碧教諭（写真）がポストカードを持って来庁しました。



TOPIC

6

惜しまれつつも廃駅

3

13

古瀬駅列車最終停車日

古瀬駅が、地域の方や大勢の鉄道ファンに見守られ、列車最終停車日を迎えました。古瀬駅は、1954年7月1日に国鉄の古瀬信号場として開設。1987年4月1日、国鉄分割民営化と同時に、古瀬信号場から駅に昇格し「古瀬駅」となりました。

通学に駅を利用していたという五十嵐政敏さんは「廃駅はしょうがないが寂しい。雪で臨時休校になったのを駅で知ったとき、駅舎で休ませてもらったのは良い思い出です」と話していました。



特別児童扶養手当の支給

特別児童扶養手当とは、身体や精神に一定以上の障がいのある20歳未満の児童を養育している家庭に対して、児童の福祉増進を図るための制度です。

手当の額は、障がいの程度および人数に応じて定められていて、手当を受けるには、認定請求の手続きが必要です（前年所得が一定額以上の場合、手当が受けられない場合があります）。

対象●身体や精神に障がいのある児童の父または母、父母に代わって養育している方

手当月額●障がい1級52,500円
障がい2級34,970円

支給時期●4月、8月は前月分まで、11月は当月分までが支給されます。

問合せ●福祉課児童福祉係 内線（527）

風しんの抗体検査について（事業主の方へ）

風しんの感染拡大を防ぐため、これまで予防接種を公的に受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性に対し、令和4年3月31日まで抗体検査・予防接種を無料で実施しています。従業員の方の定期検診の際には、対象年齢の方に対し、検査を受けていただくよう配慮をお願いします。なお、クーポン券は、次のとおり直接対象者へ発送しています。

対象●S47.4.2～S54.4.1生まれ（発送済み）

S37.4.2～S47.4.1生まれ（4月上旬発送）

問合せ●介護健康課健康管理係 内線（555）

助産師による産前・産後ケア事業を開始

妊娠生活を健やかに過ごし、安心して出産を迎え、楽しく子育てができるように4月1日より町助産師による産前・産後ケア事業を開始します。妊娠中から出産後、育児期間の中で、助産師への相談を希望する方はどなたでも利用できます。

相談内容

- ・妊娠や出産に関すること
- ・お母さんの心や体、子どもの成長発達のこと
- ・母乳やミルク等の栄養相談、乳房マッサージ
- ・育児に関する相談、悩みごとや困りごと（卒乳や夜泣きなどなんでも構いません）

相談場所●自宅に伺います

相談料金●無料

利用方法●介護健康課健康相談係に電話連絡してください。

問合せ●介護健康課健康相談係 内線（592）

●白糠町役場 ☎ 01547-2-2171

●庶路支所 ☎ 01547-5-2030

白糠町高齢者生きがい事業団の会員を募集

高齢者生きがい事業団では会員を募集しています。

高齢者生きがい事業団は、働くことを通して社会参加し、生活と生きがいの充実を図るとともに、活力ある地域社会づくりに貢献することを目的に21人の会員が楽しく活動しています。

町内在住のおおむね60歳以上の方で、働く意欲があればどなたでも入会できます。

業務内容

- ・町内の公園や公共施設などの草刈り、清掃など
 - ・一般家庭や事業所の草刈り、花畑草取り、清掃、庭木剪定、引越し手伝い、物品処分、除雪など
- ※詳細については白糠町高齢者生きがい事業団事務所（保健センター内）に問い合わせください。

問合せ●白糠町高齢者生きがい事業団 ☎ 2-5733

申告期限の延長について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、申告受付期間を延長します。

	延長前	延長後
申告所得税	3月16日(月)	4月16日(※)
個人事業者の所得税	3月31日(火)	
贈与税	3月16日(月)	

町での申告受付は次のとおり行います。

日程●4月2日(※)、7日(火)、8日(水)、14日(火)

受付時間●9:00～15:00

会場●役場1階会議室

※今後の感染症拡大の状況により、変更となる可能性があります。

問合せ●税務課税務係 内線（536）

放し飼いの犬は処分されます

■野犬掃とう期間：4月1日～翌年3月31日

野犬掃とうは、野良犬や浮浪犬による人などへの被害を防ぐために実施するものです。放し飼いの犬は野犬とみなし捕獲または処分の対象となりますので、飼い主の方は犬を放さないよう気を付けてください。また、犬の散歩は必ず鎖等でつなぎ、ふんは放置せずに必ず持ち帰りましょう。

問合せ●町民サービス課生活環境係 内線（517）

戦没者等の遺族へ特別弔慰金が支給されます

特別弔慰金は、戦没者等の尊い犠牲に思いをいたし、国として改めて弔意の意を表するため、戦没者等のご遺族に特別弔慰金を支給するものです。

支給対象者●戦没者等の死亡当時の遺族で、令和2年4月1日において、恩給法による公務扶助料や戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金等を受ける方（戦没者等の妻や父母等）がいない場合に、次の順番による先順位のご遺族1人に支給。

- ①戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金受給権者
- ②戦没者の子
- ③戦没者等の父母・孫・祖父母・兄弟姉妹
- ④前記①～③以外の戦没者等の三親等内の親族

支給内容●額面25万円、5年償還（年5万円）の記名国債

請求期間●令和2年4月1日～令和5年3月31日

請求・問合せ先●福祉課社会福祉係 内線（529）

今月の夜間窓口

日時●4月22日⑩ 17:00～19:00

会場●役場1階税務課窓口（8番窓口）

納期限は必ず守りましょう！

期限を守らず放置すると督促状が送付され、それ以降も納付されない場合は、税の公平性を保つため、法律に基づき滞納処分（差押）を行います。※予告はしません。

口座振替は納期限内に口座から引き去ることができますので、納め忘れがありません。ぜひ、便利な口座振替をご利用ください。またコンビニからも納付可能です。

問合せ先●税務課収納係 内線（538）

5月17日⑩は白糠町長選挙の投票日です

任期満了に伴う白糠町長選挙が5月17日⑩に行われます。白糠町長選挙立候補予定者説明会を次のとおり行いますので、立候補予定者および関係者（3人以内）は、必ず出席してください。

日時●4月14日⑩ 14:00～

会場●役場2階会議室

※投票所および投票時間などの詳しい内容は、広報5月号でお知らせします。

■町長選挙の公営

（町が選挙運動費用を負担する制度）

条例による選挙運動用ポスター掲示場の設置のほか、投票記載所の氏名等の掲示、個人演説会の公営施設使用が無料となっています。また、選挙運動用通常はがきが無料交付となっており2500枚まで使用することができますが、告示前に官製はがきを購入してしまうと自己負担となりますので注意してください。

詳しい内容は、立候補予定者説明会で説明します。

問合せ先●選挙管理委員会事務局 内線（330）

ふるさと納税お礼の品を募集しています

本町では、物産振興および地域経済の活性化を図り、町と関わりを持ってくれる方、来町していただける方を増やすため、まちの魅力発信につながる返礼品を活用した「ふるさと納税」を実施しています。

さらなる魅力発信のため、町内の事業者を対象に返礼品となる商品またはサービスの募集を、年間通して随時行っています。「モノ」だけではなく、本町を体験できる「コト」の募集も行っていますので、応募してください。また、町民の皆さんは体験事業のアイデアをお寄せください。

※現在出品されている商品等は、改めて応募する必要はありません。

問合せ先●企画財政課ふるさと納税推進係 内線（351）

広告

令和2年

谷口体験農園利用者募集

利用期間	令和2年5月下旬から10月31日まで
利用場所	白糠町西3条北9丁目1番地6畑地
利用区画	1区画約50㎡（5m×10m） 2区画まで利用可
利用料金	1区画利用期間（年間） 5,000円＋消費税
募集期間	4月1日から4月20日まで

◆申込方法

往復はがきの往信面に①氏名②住所③電話番号（自宅または携帯）④個人または共同の区分⑤利用予定者数⑥利用希望区画数⑦その他希望事項を記載し、返信面に住所、氏名を記入の上、4月20日（消印有効）までに下記申込先へお送り下さい。※申込者多数の場合、園主が抽選を行います。また、利用の可否は5月上旬までに返信はがきでお知らせします。

◆申込・問合せ先（4月1日より9時～17時）

〒088-0325 白糠町西3条北9丁目1番地2
谷口体験農園 谷口 善一 ☎2-3090

ヒグマの出没・山火事に注意

■山に入る場合の注意事項

- ・入林する場合は、必ず所有者から許可を受けて複数人で行動しましょう
- ・鈴などの鳴り物を持って音を出しながら歩きましょう。川や風の音がある時は、より大きな音を出すようにしましょう。
- ・クマの足跡やシカの死骸などを見つけた時は、近くにクマがいる可能性があります。すぐに引き返しましょう。
- ・良い山菜採りの場所は、クマにとっても良い餌場です。鉢合わせしないよう周囲には十分注意を払いましょう。
- ・残飯などのごみを放置するとにおいを嗅ぎつけてクマが人里に出てくる原因になります。ごみは全て持ち帰りましょう。
- ・たき火をすると、強風や乾燥により枯れ草などに火が燃え移る危険性がありますので、絶対にしないようにしましょう。また、出火を確認した場合はすぐに消防署に連絡しましょう。

問合先●経済課林業係 内線 (256)

墓地に関する届け出について

次に当てはまる場合は必ず届け出をしてください。

- ①墓地に納骨する場合
 - ②墓地の使用者を変更する場合
 - ③墓地からお寺またはお寺から墓地に移す場合
 - ④使用者が墓地および付属するものを建設、改築、撤去する場合
 - ⑤墓地が不要となり返還する場合
- ※使用者が死亡した日から10年経過しても継承者がいない場合や土地の使用許可を受けてから3年を経過した場合は、使用許可が取り消される場合がありますので注意してください

問合先●町民サービス課生活環境係 内線 (517)

移動献血車「ひまわり号」が来町します

移動献血車「ひまわり号」が来町します。現在血液が大変不足していますので、献血にご協力をお願いします。日時と献血場所は次のとおりです。

■4月6日(月)

白糠町役場 9:30~16:30

※海外から帰国して4週間以内の方や、欧州での滞在経験がある方は、献血制限措置の対象となりますのでご了承ください

問合先●福祉課社会福祉係 内線 (529)

- 白糠町役場 ☎ 01547-2-2171
- 庶路支所 ☎ 01547-5-2030

町営住宅の入居者を募集します

町営住宅の入居者を募集します。

精神・知的障がいのある方およびDV被害により町営住宅への入居を希望される方は、事前に連絡をお願いします。

申込期間●4月1日(水)~4月10日(金)

申込資格●居住する住宅に困っていること、税金等に滞納がないこと、世帯全員の月額所得が基準内であることなど、条件があります。

詳しくは問い合わせいただくかホームページをご覧ください。

申込方法●役場2階建設課と庶路支所に備え付けてある「町営住宅入居申込書」に必要事項を記入し、次の①もしくは②の書類を添付して申し込みしてください。なお、庶路支所でも申し込みすることができます。

①町内に居住する方●同居する全員の平成30年分の収入と所得が分かる書類(源泉徴収票など)

②町外に居住する方●同居する全員の住民票、所得証明書、納税証明書

入居時期●5月上旬予定

募集住宅●

■橋北団地

- ①築S52年 1階3DK K-10-4 家賃12,900円~
- ②築S52年 2階3DK K-10-6 家賃12,900円~

■日の出団地

- ①築H03年 3階3DK 3F-41-9 家賃19,100円~
- ②築H03年 3階3DK 3F-41-12 家賃19,100円~
- ③築H04年 2階3LDK HK-1-6 家賃21,500円~
- ④築H04年 2階3LDK HK-1-7 家賃21,500円~
- ⑤築H04年 3階3LDK HK-1-11 家賃21,500円~
- ⑥築H06年 2階3LDK HK-3-6 家賃23,200円~
- ⑦築H06年 2階3LDK HK-3-8 家賃23,200円~
- ⑧築H06年 4階3LDK HK-3-13 家賃23,200円~

※①・②は風呂釜なし

■共栄団地

- ①築H14年 2階3LDK KR-2-7 家賃27,500円~

■朝日団地

- ①築H15年 2階3LDK AR-1-9 家賃25,800円~

※募集住宅については変更となる場合がありますので問い合わせください

※月額家賃は収入基準により異なりますので問い合わせください

問合先●建設課住宅管理係 内線 (285)

社会福祉協議会会葬お礼はがき利用料

- ・ 小山 浩慶さん（東3北2）12,000円
- ・ 堀 和宏さん（東1北2）14,000円
- ・ 吾妻 昌子さん（東1南4）31,000円
- ・ 松本 ノブ子さん（茶路増区）14,000円
- ・ 富田 国昭さん（東1北2）6,000円

寄付ありがとうございます

■一般寄付金として

- ・ 下原 欣治さん（西庶路西1南2）10,000円



釧路市西消防署白糠支署 2月末までの活動状況

救急出動件数	81件（41件）
・ 急病	（30件）
・ 交通事故	（2件）
・ その他	（9件）
ドクターヘリ搬送件数	3件（2件）
火災出動件数	0件（0件）
その他の出動件数	9件（4件）

※（ ）内は2月の出動件数

春の火災予防運動

～火の用心7つのポイント～

- ①家のまわりに燃えやすいものは置かない
- ②寝たばこやたばこの投げ捨てをしない
- ③天ぷらを揚げるときはその場を離れない
- ④子どもにはライターなどで遊ばせない
- ⑤電気器具は正しく使用しタコ足配線はしない
- ⑥ストーブに燃えやすいものを近づけない
- ⑦外出前に火の点検をする

野火・山火事に注意！

冬から春にかけては空気の乾燥に加え、枯れ葉・枯れ草が多くなることから野火・山火事が発生しやすい季節です。以下のことに気をつけ、貴重な資源を守りましょう。

- ①入山の際には、携帯用灰皿を持つか、禁煙を心掛けましょう。
- ②たばこの吸い殻やマッチの投げ捨ては絶対にやめましょう。
- ③屋外で火を使うときは、風の強い日避け、水や消火器を用意し、必ず監視する人を置いて消火を確認しましょう。

問合せ●西消防署白糠支署 ☎ 2-2053

土地価格および家屋評価縦覧帳簿の縦覧

土地価格等縦覧帳簿および家屋価格等縦覧帳簿を次のとおり縦覧します。

縦覧期間●4月1日(水)～6月1日(月) 8:30～17:00
(土曜・日曜、祝日を除く)

縦覧場所●役場税務課窓口

必要なもの●申請に来る方の印鑑、代理人・法人の場合は委任状

問合せ●税務課資産税係 内線 (535)

家屋取り壊しの届け出はお済みですか

家屋の一部または全部を取り壊した場合は「家屋滅失申告書」を役場へ提出する必要があります。

まだ届け出をしていない方は、印鑑を持参の上、役場税務課に届け出をしてください（用紙は税務課にあります）。なお、釧路地方法務局で滅失登記の手続きをした方は、届け出の必要はありません。

問合せ●税務課資産税係 内線 (535)

労働基準監督官・国税専門官を募集します

資格●①平成2年4月2日～平成11年4月1日生まれの方

②平成11年4月2日以降に生まれた方で大学卒業見込みなど別に定める方

第1次試験●6月7日(日)

応募方法●3月27日(金)～4月8日(水)の期間中に以下のURLより申し込みください。

ホームページ●<http://jinji-shiken.go.jp/juken.html>

問合せ●釧路労働基準監督署 ☎0154-42-9711
釧路税務署 ☎0154-31-5100

広告

メニューいろいろ…

はまなすのテイクアウト

(お持ち帰り料理)

ぜひご利用
ください!

**お弁当からオードブル
一品料理も!**

チーズやラム肉、鹿肉、海の幸など…
”しらぬか”の食材を使った地場産品
メニューが楽しめます ☎2-2188

News

古瀬駅の写真が掲載された写真集を寄贈

釧路市阿寒町在住の佐藤照雄さん（写真右）から、3月13日に廃線となった古瀬駅の写真が掲載されている写真集「釧路のスマイル」を100冊寄贈していただきました。同写真集は、多くの人にスマイルに興味を持ってほしいという思いから、編集作業はすべて自身で行ったそうです。

古瀬駅の写真は写真集の90ページに掲載されており、写真には古瀬駅を通過する特急スーパーおおぞらとスマイルが写っています。

3月11日、写真集の贈呈式が佐藤さんのご自宅で行われ、佐藤さんから池村美博保健福祉部長へ写真集が手渡されました。

佐藤さんは「古瀬駅で撮影した写真があること、最終運行日の3月13日が自分の誕生日であることに縁を感じました。ぜひ古瀬駅の思い出として残してほしいです」と笑顔で話してくれました。

写真集は公民館や町内の各学校などに展示されていますので、ぜひご覧ください。



News

有限会社高原重機が白糠生活館ほか4カ所の排雪

2月19日、地域貢献の一環として有限会社高原重機（高原隆一社長）が白糠生活館ほか4カ所の排雪をしました。

この日は、ホイールローダーやトラックを使用し、1日かけて白糠生活館や白糠バスターミナル前駐車場、吾妻水産前などの雪山を排雪していただきました。同社には、毎年、上茶路地区植樹地のシカ柵の整備などもしていただいています。



Notice

太陽のまち定住奨励助成事業

太陽のまち定住奨励助成事業は、太陽光発電システムを住宅等の屋根や土地に設置する方、地域材を使った新築住宅を建築または購入する方、住宅の新築または新築住宅を購入する方に対して、最大で200万円を助成するものです。

助成金額●町民・新規定住者ともに次の金額です。

①住宅を新築または新築住宅を購入…100万円・②太陽光発電システムの設置…最大50万円

③地域材を利用した住宅の新築または建売住宅の購入…最大50万円

※白糠町商工会に加盟する建設業者、設備業者等の利用が条件となります

申請方法●助成金等交付申請書に必要書類を添えて、工事着工前（建売住宅の場合は引渡し前）に白糠町商工会窓口へ提出してください（郵送不可）。助成金等交付申請書および必要書類は、町のホームページからダウンロードすることができます。詳しくは、町ホームページをご覧ください。白糠町商工会または役場経済課商工係まで問い合わせください。

問合先●経済課商工係 内線（246）

Notice

学びの支援ボランティア「どさんこ」利用実績

学びの支援ボランティア「どさんこ」は、自らの知識・技術・特技を生かし、ボランティア講師として学習の機会を提供する取り組みです。令和元年度は55件の利用があり、延べ812人が参加しました（2月末現在）。「どさんこ」には、今回紹介するほかにもさまざまなジャンルの講師が登録しており、約40種類のメニューがあります。学習会やグループ活動、団体・町内会の研修など3人以上集まれば利用することができますので、気軽に相談してください。

また、教育委員会では、学びの支援ボランティアとして講師をしていただける方を募集しています。あなたの知識や技術、特技を生かしてみませんか。資格等は必要ありません。

問合せ●社会教育課社会教育係 ☎2-2287

利用状況

- そば打ち（廣田達郎さん）…………… 1件 50人
- 自然散策（鳴海聖浩さん）…………… 1件 19人
- 茶道（新井田芳子さん）…………… 2件 34人
- 和紙アート（新井田芳子さん）……… 1件 30人
- 下の句かるた（竹田忠孝さん）……… 1件 50人

- 着付け（山吉文子さん）…………… 1件 20人
- 合唱（佐藤美貴夫さん）…………… 1件 70人
- ふまねっと（鈴木麗子さん・浅見あけみさんほか）
…………… 48件 539人
- 合計…………… 56件 812人

講師：山吉文子さん（写真中央）



①

講師：佐藤美貴夫さん（写真左）



②

講師：新井田芳子さん（右から2番目）



③

講師：竹田忠孝さん



④

- ①山吉さんが講師を務めた公民館講座「初心者浴衣着付講座」では、参加者は初めての浴衣に緊張しながらも楽しそうに袖を通し、初心者でも簡単できれいに着こなせる方法を学びました。
- ②白糠町女性団体連絡協議会リーダー研修会では、佐藤さんを講師に合唱体験が行われ、童謡唱歌をうたう会の皆さんと合唱しました。
- ③新井田さんが講師を務めた茶路小中学校で行われた茶路振興会による茶道教室では、おいしいお茶を味わいながら茶道の奥深さや作法を学びました。
- ④竹田さんが読み手と審判長を務めた小中学生下の句かるた大会では、白熱した戦いが繰り広げられました。

Notice

“70歳以上” ^い生き活きしらぬか健康入浴事業 ～入浴の際はマナーを守って利用してください～

町では、高齢者の皆さんの健康づくりやふれあい、相互交流のより一層の推進を目指して、温浴施設「しらぬかの湯」を活用した「生き活きしらぬか健康入浴事業」を実施しています。

実施日時●毎月第2・第4金曜日 10:00～16:00

※毎月の実施日は広報最終ページの「くらしのカレンダー」で確認してください。

場所●しらぬかの湯（東2条北3丁目）☎2-3272

対象者●令和2年4月1日を基準日とする住民基本台帳上の町民で、満70歳以上の方

申請手続き●対象者には個別に申請書を発送しますので、「しらぬかの湯」窓口へ提出してください。

【申請に必要なもの】

申請書・印鑑・健康保険被保険者証や運転免許証など本人確認ができるもの

※申請後に登録カードを発行しますので、次回から窓口へ提示してください

※これまでに登録カードの交付を受けている方は、引き続き利用できます。申請手続きは不要となりますので、利用の際はカードを窓口へ提示してください

問合先●福祉課社会福祉係 ☎ 2-2171（内線529）・しらぬかの湯 ☎ 2-3272



生き活き ^いしらぬか外出支援助成事業

町では、高齢者の方や重度障がいのある方の外出支援として、年間6千円分のタクシーと町営バス共通の運賃補助券を交付する「生き活きしらぬか外出支援助成事業」を実施しています。

なお、民間のバスに利用することはできませんので注意してください。

対象者●令和2年4月1日を基準日とする住民基本台帳上の町民で、次の①または②の要件に該当する方
※施設入所者や長期入院患者等は対象になりません

①高齢者の方で、次のいずれかに該当する方

- ・満75歳以上の方
- ・満65歳から74歳以下の方で、介護保険要支援1または2を認定されている方
- ・満65歳から74歳以下の方で、運転免許証を自主返納された方

②障害者手帳等の交付を受けた方で、次のいずれかに該当する方

- ・身体障害者手帳1級または2級の交付を受けている方
- ・内部機能障がい身体障害者手帳3級の方
- ・療育手帳の交付を受け「A」と判定、診断された方
- ・重度の知的障がいと判定、診断された方
- ・精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けている方



助成内容●1枚1000円のタクシー・町営バス共通補助券を対象者1人につき年間60枚交付

申請手続き●対象者には個別に申請書を発送しますので、申請書が届いてから福祉課社会福祉係または庶務支所（☎5-2030）で手続きをしてください。なお、満65歳から74歳以下の方で、令和2年4月1日までに運転免許証を自主返納された方は、社会福祉係まで問い合わせください。

問合先●福祉課社会福祉係 ☎ 2-2171（内線529）

Notice

合併処理浄化槽の補助制度（4月1日受付開始）

■これから合併処理浄化槽を設置したい方

1基あたりの補助金額～5人槽：90万円、6人槽以上：110万円

※単独処理浄化槽から転換工事を行う際の補助制度もあります（上記の補助金+9万円程度）

■合併処理浄化槽と一緒に水洗トイレに替えたい方

水洗化等工事資金補助金～1棟につき6万円程度 ※町内金融機関から融資を受けられる制度もあります。

■合併処理浄化槽をすでに設置している方

法定検査費用を補助します。設置後の検査と年に1回受ける検査が対象です。

※対象地域は、下水道整備計画区域以外の住宅、業務施設です。将来的に合併処理浄化槽の設置を検討している方もお気軽に相談してください

問合せ●町民サービス課生活環境係 ☎ 2-2171（内線517）

Book

新着図書情報

■一般よみもの

- ・うちの父が運転をやめません（垣谷美雨）
- ・清明 隠蔽調査8（今野敏）・茶聖（伊東潤）

■児童よみもの

- ・スポーツびっくりに図鑑（小学館）

■絵本

- ・スキップスキップ（黒井健）

開館時間●10時～18時（土・日、祝日は17時まで）

休館日●毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）

問合せ●公民館図書室 ☎ 2-5555

今月のおすすめ図書

OLIVE いのちを守るハンドブック

作者●NOSIGNER 出版社●メディアファクトリー

道内でコロナウイルスが流行を見せるなか、マスクなど一部の商品は品薄になっているものもあるようです。本作は、災害時に身を守る方法のほか、マスクの作り方など、覚えておくと役立つ情報が掲載されたおすすめの一冊です。



Notice

カラオケ機器をご利用ください

町では、高齢者等の福祉の増進のため、社会福祉センターにカラオケ機器を設置しています（写真）。

4月からは新たに西庶路コミュニティセンターと庶路町民センターにも設置しますので、利用する際は、事前に申し込みください。

申込●社会福祉センターは社会教育課、

西庶路コミュニティセンターおよび庶路町民センターは庶路支所へ申し込みください。

問合せ●社会教育課 ☎2-2287・庶路支所 ☎5-2030



Notice

アイヌ文化を全国に発信

先月号でお知らせした、白糠のアイヌ文化を全国に発信するため制作を進めていたホームページ「ウレシパ シラリカ」が4月1日より公開されます。

併せて紹介していた、アイヌ文化を紹介する放送番組（英語版）の日本語版については、「ウレシパ シラリカ」で公開しますので、ぜひご覧ください。

URL●<https://www.shiranuka-ainu.jp>

問合せ●福祉課 ☎2-2171（内線520）

地域活性化支援員 根津真枝さん 退任挨拶



札幌市から白糠町に移住し、地域おこし協力隊として着任したのが2011年5月1日、協力隊としては6年、地域活性化支援員として、この「広報しらぬか」の編集に携わって3年、計9年間お世話になりましたが、3月末をもって退任することとなりました。

「町の情報を発信する」という任務のもと、これまでさまざまな仕事をさせていただきました。白糠に来た当日から書き始めたブログ「白糠って知らぬかった!」の記事も900を超えました。ブログを見返すと、本当にいろいろな経験をさせてもらったなあとしみじみ実感しているところです。ブログと同時進行で始めたSN

S(会員制交流サイト)のフェイスブックでは「白糠町」と「道の駅しらぬか恋問」のページを作成し、日々の情報を発信してきました。

釧路管内初の地域おこし協力隊ということで、管内のいろいろな活動にも参加させていただきました。釧路新聞(2年半)と北海道新聞(3年)でのコラムの連載も楽しく書かせていただきました。

そして、情報発信の仕事とは別ですが、着任してすぐに携わったシソ畑の仕事も楽しかったです。春のタネまきから秋の収穫・加工

作業まで、ほぼ毎日シソ畑に通いました。畑の仕事は決して簡単ではないということをもっと知り、5年間、毎年頭を悩ませながら、シソを育てましたが、今となっては懐かしく大切な思い出です。庶路学園の建設現場で、学園が完成するまでのレポートをさせていただいたのも貴重な経験となりました。また、白糠町の特産物を紹介するイベントやツアーなどの企画もさせていただき、町内外で白糠町のPRをしてきました。当時はまだまだ知られていなかった白糠の町の情報をいかに知ってもらうか、いろいろなことを試してきました。

◇なにもない町？

白糠に来たばかりの頃は、町の皆さんが「この町はなにもない」と言っているのをよく耳にしました。そこで私は、皆さんとお話する機会を得るたびに「白糠には他の町にはないたくさんの魅力、特産物があり、自慢に値するすごい町です」とお話ししてきました。特に食材に関しては、町外の方や飲食店さんに紹介すると、ぜひ食べてみたい、お店で使いたいという反応があり、そういった仲間などもいました。

ここ数年、白糠町内でも地元の食材を使った料理が食べられるお店も増え、町内外、道外からもわざわざ食べに来るとい話を聞くと本当にうれしくなります。

私が発案した『白糠ししゃもの日』が町外にも徐々に定着してきたこともうれしいことのひとつです。



青少年旅行村での草刈り作業。この写真がお気に入りです。名刺にも使っていました。



札幌のオータムフェストでハイジパンや焼きツブなどを販売し、長蛇の列になったことも懐かしいです。

す。地道に頑張れば広まっていくということも実感しました。これは仕事外ですが、アルゼンチンタンゴのサークルも作りました。メンバーの上達ぶりにも感動しています。

◇ふるさと

私は札幌市で生まれ育ちましたが、札幌にはあまり愛着を持たず、「ふるさと」だと感じたことはありませんでした。しかし、白糠に住んでみて初めて居心地の良さを感じ、札幌や東京に出張して戻ってきたときも、白糠の景色を見ると不思議と安心するようになったことに気付きました。「ああ、これがふるさとという感覚のかな」と思い



土曜サロンでの「アルゼンチンタンゴ講座」。
ここからサークル活動が始まり、7年続いています。

ました。居心地の良さを感じたのは町民の皆さんが優しく受け入れてくれたからというのが一番大きな理由です。白糠では誰もが気軽に声を掛け、助け合うことが当たり前という空気がありますが、それは今の都会ではまったく感じられなくなっています。隣に誰が住んでいるのかすら知らないということも多いのです。だから、白糠の皆さんの優しさが本当に「有り難い」ものだったのです。

◇白糠町のこれから

「十年ひと昔」と言いますが、白糠町は9年前とは大きく変わっ

ています。2015年には道道道の白糠ICが開通することになり、それに向けてのPR活動も大々的に行いました。2016年には庶路ICと阿寒ICが開通し、これによって車の流れもまた変わっていききました。ストロー現象が起これ、白糠町を通らずに釧路市に向かつてしまう人たちが増えています。しかし、2015年から返礼品制度を開始したふるさと納税人気により、町への関心や支持が高まってきています。これを足掛かりに「わざわざ行きたい町」「住みたい町」にするチャンスだと思っております。そのための仕掛けをたくさん作っていく必要があります。これからは「北海道と言えば白糠」と言われるようになるのではないかと思います。

◇最後に・・・

残念ながら私は町での仕事を離れることになりましたが、今後も違った形で白糠町を応援していけたらと思っています。何か協力できることがあればいつでもお声かけください。白糠町がいつまでも元気な町であることを願っています。これまで本当にお世話になりました。ありがとうございます。

ALT(外国語指導助手) 徐玉潔さん退任挨拶



1年という短い期間でしたが、仕事はもちろんのこと、私生活においても貴重なかけがえのない時間を過ごさせていただきました。着任当初は不安でいっぱいでしたが、教育委員会の皆さんをはじめ、各学校の先生方のおかげで、だんだんと慣れていくことができました。ご指導をいただいた皆さんとお世話になった皆さんに心より感謝いたします。

また、学校以外でも、さまざまなイベントに参加させていただき、町民の皆さんと交流することができました。厳島神社例大祭での巫女の経験や日本舞踊を習ったことは一生忘れることはありません。いつも温かくしてくださいる町民皆さんのおかげで、とても幸せで充実した毎日を送ることができました。

私にとって白糠町は第2のふるさとです。言葉という国境を越えた人とのつながりや世界的視野で物事を見つめる目、何事にも諦めずに挑戦しようとする強い意志など、数えきれないほどの大切なことを白糠町は教えてくれました。

私は4月に帰国し、新たな道に挑戦します。そして、これからも中国と日本の交流に引き続き携わっていく予定です。そのときには、白糠町のすばらしさをできる限り、多くの方々に伝えていきたいと思っています。

最後に、町民皆様のご健勝とご多幸、白糠町の益々のご発展、子どもたちの心と体の穏やかな成長を心よりお祈り申し上げます。1年間本当にありがとうございました。



久遠塾

君の世界に芽生えるものは
vol. 10



かたおか あすか
片岡 明日香

平成30年、久遠塾誕生。その年に入学した白糠高校生。生徒も久遠塾も、もうすぐ3年生になります。

心の中を言葉にする

塾に来ている生徒の中には、大学進学を目指す生徒もいます。試験までの間、その一人一人とじっくり話をする時間を定期的に設けることにしました。（要望があれば、専門学校や就職を目指す生徒とも行います！）そうすることで、その大学を選んだ理由や夢への思い、将来どのような人物になりたいか、どのような仕事をしていきたいかを、自分の心からの言葉で表現でき

るようになると思います。

私は話を聴いて、聴いたことを紙に書いて、気になったことを質問して、その答えをまた書いて、という係です。話を聴いていると、初めて知るその生徒の一面があります。物事の見方や考え方に、ハッとさせられることがあります。学ぶことも多く、すごく勉強になります。

「とにかく人の役に立ちたい。周りの人が楽しそうだと幸せになる」と言います。人の役に立つ、相手が楽しくなるような他の職業を挙げてみると、それではない、と話してくれます。彼女の中で、揺るぎない情熱と思いがあるのです。

別の生徒が話してくれました。「これからはAI（人工知能）が活躍する時代になり、生活は便利になるだろうけど、人との関わりに悩む人が多くなる気がする。それを救ったり解決に導いたりすることができるとは、やっぱり人の力だと思うから、人の心に寄り添える仕事がしたい」

みんなが「ぶんのいち」

久遠塾では、令和2年度から新たなゼミを始めます。その名も【ぶんのいちゼミ】。

今年度、高校生対象の「志らゼミ」を実施してきました。しかし、高校生と高校の先生方・塾スタッフが、年齢や立場に関係なく意見を言い、考えを認め合う雰囲気がついてもすてきで…。これはぜひ町民の方にも加わっていただきたい、という思いが湧いてきました。そこで、大人も高校生も、とにかく白糠にいるみんなでいろいろなことを考えて、それぞれの気持ちや意見を交わし合う場として、新しいゼミの開催を決めました。2月29日現在の人口は7689人。その一人一人が白糠町の一員であって、白糠町をつくっていくのであって、自分ごととして、さまざまなテーマについて考えられたら…、という思いで名付けたのが「ぶんのいち」。つまり全員が7689分の1で、この「1」があなたなのです。



2月14日に開催した「志らゼミ」。自分トリセツを作り、お互いのトリセツに付箋でメッセージやコメントを書き合いました。

今後のゼミ（会場・久遠塾 公民館3階）

●美文字講座【今年度の意気込み】

4月22日(水) ①18:15~19:15 ②19:30~20:30

●ぶんのいちゼミ【中学校の教科を一つ減らすなら…?】

4月27日(月) 18:15~19:15

くおんじゅく

久遠塾 ☎ 080-2182-1379 13:00~21:00（平日）

メールアドレス shiranuka.kuon@gmail.com

ブログ <https://kuon-jukulocalinfojp.amebaownd.com>

ぬかづけ 日記 連載⑧

白糠町のPRのことばかり考えるわたし
白糠漬けの日常より。

地域おこし協力隊

キタダ ジュンコ
北田 純子



Profile

1973年11月23日生まれ。
千葉県千葉市出身
結婚情報誌「ゼクシィ」、
転職情報サイト「doda」な
どの広告制作、タイ国政府
観光庁発刊ガイドブック作
成などの企画・編集に携わ
っていた。2019年4月から
白糠町の観光をPRする地
域おこし協力隊として着任。
趣味は映画鑑賞、読書、ア
ウトドア。

■北田純子ブログ

「シラヌカAtoZ」
<https://shiranuka.wixsite.com/atoz>



感謝祭のゲスト、富永愛さん
(写真中央)と生産者の皆さん。

深い感動をもたらず 白糠町産の食材たち

2月9日⑤〜2月11日⑥に開
催された「白糠町ふるさと納税
感謝祭2020」。3日間にお
たり寄付者の中から抽選で選ば
れた一般参加者とメディア関係
者をお招きして、白糠町食材を
80%以上使用したフランス料理
のフルコースを食していただき
ました。

感謝祭で私が一番強く感じた
ことは「感動が、さらに大きな
感動を呼ぶ」ということです。

生産者の皆さんは『どうした
ら最もおいしい状態で食材を料

理人や家庭に届けられるか』を
とことん追求しています。その
過程でさまざまな気付きや感動
があり、食材への愛着が深まる
ことを教えてくださいました。

次の感動は「料理長&シェフ
たちの感動」です。白糠町に足
を運び、生産者の皆さんが生み
出す食材にほれ込んだ料理長。
サポートするシェフたちととも
に、最高のコース料理へと生ま
れ変わらせてくれました。

そしてこれらが「食す人たち
の感動」を産みだします。食事
を終えた皆さんにインタビュ
ーすると「白糠町の食材がなぜお
いしいのか、すごく納得できま

した」「白糠町のファンになり
ました」「白糠町に行ってみた
くなりました」などの言葉を頂
戴しました。料理のおいしさを
美しさはもちろんですが、生産
者の皆さんの尽力や、白糠のテ
ロワール（地理、地勢、気候に
よる特徴を指す仏語）という
『食材が宿すストーリー』を伝
えることにより、招待客により
深い感動を届けることができた
のでは、と感じています。

遠方から多くのファンが 別れを惜しむ古瀬駅

廃止前の古瀬駅。古瀬駅には、

全国から多くの方が訪れて、別
れを惜しんでいます。

●福井県Y・Eさん(20代男性)
地域住民に支えられてきた駅
がなくなるのは残念。公共交通
機関のありかたについて、みん
なで考える良い機会では。

●東京都N・Hさん(30代女性)
交通インフラは地域住民にと
って重要な存在。企業経営の視
点では廃止もやむを得ないのか
もしれませんが、有事の時の備
えとして、廃止後もぜひ設備等
は残しておいてほしい。



しらぬか
白糠町
フォトコンテスト

 しらぬかの魅力を探しに行こう！



撮影期間●令和2年2月1日(土)～令和3年1月31日(日)

募集期間●令和2年4月1日(水)～令和3年2月2日(火)

テーマ●白糠町の景色や光景、特産品、周りの人におすすめしたい場所など、町内で撮影した写真であればどんなものでも構いません。ふるさと納税部門については、お礼の品の写真を応募してください。

応募部門●(1) 一般部門 (2) 小中学生部門 (3) ふるさと納税部門

応募資格●(1) 高校生以上 (2) 町内の小中学生 (3) 本町へのふるさと納税寄附者

応募作品●以下の注意書きをよく確認した上で応募してください。

- ・ 応募者本人が撮影した未発表の写真に限ります。
- ・ 一般部門および小中学生部門については、白糠町内で撮影されている写真とします。
- ・ カラー、モノクロ、デジタルは問いませんが、撮影画像の加工・合成等の修正した作品は受け付けません。
- ・ 写真に日付は入れないでください。
- ・ 1人2作品までの応募とします。
- ・ 立ち入りが禁止されている区域で撮影されたと思われる作品は、審査の対象から除外します。

応募方法●1500×2100 (pixel) 約300万画素以上のJPEG形式の画像で1枚約5MB以内に調整し、メール添付またはCD-R等の電子記録媒体に保存して郵送、持参してください。また、必ず応募用紙を添付してください。応募用紙は町ホームページからダウンロードしていただくか、企画財政課にお越しください。

問合せ・応募先●〒088-0392 北海道白糠郡白糠町西1条南1丁目1番地1

白糠町役場企画総務部企画財政課地域交流係 ☎01547-2-2171 (内線236)

メール: chiikikouryu@town.shiranuka.lg.jp

ふるさと納税部門は“インスタグラム”でも応募可能です！

白糠町公式アカウント「@shiranuka_official」をフォローし、ハッシュタグ(#白糠フォトコン)を付けて返礼品の写真を投稿してください。



公式インスタグラム

ひとのうごき 令和2年2月29日現在

- ◆ 人口 7,689人 (▲11人)
 - 男 3,599人 (▲2人)
 - 女 4,090人 (▲9人)
- ◆ 世帯 4,097世帯 (▲4世帯)
 - ※() は前月比

戸籍のまど

おめでとう

今月の出生届けはありませんでした。

おくやみ

- 東3北2 奥山 勇輝 さん(39歳)
- 東3南2 渡邊 千ヨ さん(88歳)
- 岬 2 日下 登 さん(73歳)
- 西・西1南2 下原 ナカ さん(95歳)
- 新縫別 松本 信次 さん(83歳)

2月16日～3月15日の届出で承認をいただいた方のみ掲載しています。

「縫別自然の家」利用受け付け開始

縫別自然の家は、豊かな自然を生かした宿泊施設です。自然体験や文化・スポーツ活動をはじめ、レクリエーションや研修の場として、さまざまな活動ができます。

体育館、調理室、シャワー室のほか、野外炊飯場、ミニパークゴルフ場もあり、宿泊でも日帰りでも利用できます。

学校や子ども会などの活動にぜひ利用してください。



受付開始●4月1日(水)

開設期間●5月1日(金)～10月31日(土)

申込方法●事前に電話等で予約後、申請書に使用料を添えて、使用日の5日前までに申し込みください。

縫別自然の家使用料●※幼児は無料

区分		使用料(1人1回)	宿泊料(1人1泊)
小・中学生、義務教育学校の児童生徒	町内	157円	加算 157円
	町外	235円	加算 235円
高校生以上	町内	314円	加算 314円
	町外	471円	加算 471円

問合せ先●社会福祉センター ☎2-2287

楽屋オチ

◆毒舌家が暴露された下段のT君。先月T君に「うちに受験生いるから『楽屋オチ』書けない」と言ったところ、「大丈夫じゃないですか～」との返答。「受験が大丈夫なのか」それとも「楽屋オチを書いたところで、オチがないから大丈夫」という意味なのか、毒舌のT君が言うので、どっちの意味なのか分かりませんでした◆先月、私に代わってオチを書いてくれた、Nさんが3月で退任となりました。一人減りますが、楽屋オチは落ととしても、広報の質は落とさないように頑張ります(S)

◆先月のNさんのオチにもありましたが、私の趣味はおいしいもののお取り寄せ。Nさんには、いつもおいしいものをもらったり、教えてもらったりと大変お世話になりました。また、Sさんとタッグを組んでいじってきたり、突然毒舌家を暴露されたりと、そのおかげか、いろいろな意味で一回り大きな人間に成長できた気がします(笑)

◆来月号のオチでは、人事異動によるSTコンビ解散がそれとも続投なのかその結果が出ます。乞うご期待(T)

1000号記念もじさがしの答え

広報しらぬか創刊1000号を記念して先月号に掲載された「1000号記念もじさがし」。皆さんは何個見つけられたでしょうか？

答え合わせをし、今よりもっと白糠町に詳しくなってください！

し	か	も	ぬ	ひ	つ	し	こ	ほ	う
ふ	ら	り	や	か	う	け	い	く	ら
る	わ	と	ろ	し	ら	ぬ	か	ら	と
せ	て	お	さ	や	し	い	く	に	う
す	ん	ま	て	ま	ち	へ	し	そ	た
ら	へ	こ	の	ゆ	か	つ	ぬ	や	い
し	つ	ぬ	う	し	い	た	し	な	つ
き	ら	み	よ	き	か	と	ん	き	ふ
と	こ	め	い	か	お	こ	い	た	ら
し	よ	ろ	た	む	かん	ら	こ	か	

マスの中には28個の言葉が隠れていました。

(「せんごうきねん」を除く)

タテ●ひがしやま・こいかくし・ふるせ・わてんべつ・ぬいべつ・とうだいつぶ・こまおどり・やなぎだこ・ときしらず・たいようのて

ヨコ●しか・ひつじ・ごぼう・いくら・しらぬか・しそ・うし・ふき・めいか・こいた・しよろだむ

ななめ●けがに・かいちゅうみこし・ししゃも・ちゃろ・たんたか・こいとい・さしうし

4月くらしのカレンダー



間伐で未来につながる北の森
広報しらぬかは道内産の間伐材で作られた紙を使用しています

発行日/令和2年3月25日(月)1回発行
発行/白糠町 編集/企画財政課地域交流係

1 (水) ・白糠こども園開園式、入園式 11:00～
白糠保育園

2 (木) ・母子健康相談 10:00～^保
・1歳6カ月児、3歳児健康診査 12:30～^保

3 (金) ・茶路へき地保育園進級式

4 (土)

5 (日)

6 (月) ・庶路こども園入園式
・移動献血車「ひまわり号」来町^詳20分

7 (火) ・白糠小、白糠中、茶路小中、庶路学園入
学式

8 (水)

9 (木) ・母子健康相談 10:00～^保
・4カ月児、9・10カ月児健康診査 13:00～^保

10 (金) ・70歳以上しらぬかの湯無料入浴日
・ふまねっと教室 13:30～^保

11 (土)

12 (日)

13 (月) ・こころの相談 13:00～^役

14 (火) ・白糠町長選挙投票日^詳19分
・ふまねっと教室 13:30～^コ

15 (水)

16 (木)

^役 役場庁舎 ^社 社会福祉センター ^保 保健センター ^公 公民館
^コ 西庶路コミュニティセンター ^庶 庶路町民センター ^支 庶路支所
^総 総合体育館 ^温 温水プール ^集 集会所 ^{PG} パークゴルフ場
^や やまびこ児童館 ^ふ ふれあい児童館 ^子 子育て支援センター
^詳 詳細内容の掲載先ページを表す

17 (金)

18 (土)

19 (日)

20 (月)

21 (火)

22 (水) ・夜間納税窓口 17:00～^{役詳}19分

23 (木)

24 (金) ・70歳以上しらぬかの湯無料入浴日
・ふまねっと教室 13:30～^保

25 (土)

26 (日)

27 (月) ・こころの相談 13:00～^役

28 (火) ・ふまねっと教室 13:30～^コ

29 (水) ・昭和の日

30 (木)

喜多島麻鈴さんがラジオ番組の パーソナリティーを担当します！

白糠町出身歌手の喜多島麻鈴さんが「FMかつしか」のラジオ番組「ビックタイムプラスサム」のパーソナリティーを担当することとなりましたので、ぜひご視聴ください

放送日●毎月第2木曜日 17:00～

初回放送日…4月9日(木) 17:00～

※視聴方法については次のURLをご確認ください

URL●<https://kfm789.co.jp/kikikata/>

白糠町役場

〒088-0392 北海道白糠郡白糠町西1条南1丁目 TEL 01547-2-2171 FAX 01547-2-4659
メール tantaka@town.shiranuka.lg.jp ホームページ <https://www.town.shiranuka.lg.jp>

